

第1号

発行日 平成26年12月1日

NPO法人白河市体育協会広報創刊号

発行責任者 会長 櫻井和朋

事務局住所 白河市北中川原56

電話番号 29-8655

印刷所 柳ワタベ印刷所

笑しらかわ顔



スポーツを通じて心身の健全な育成と

明るいまちづくりを推進しよう

NPO法人になった白河市体育協会

NPO法人白河市体育協会 会長 櫻井 和朋

このたび広報誌を発行することになりました。これまで体育協会は、半世紀にわたり、スポーツの振興を通して、市民の健康の増進ひいては、まちの活性化に努力して参りましたが、これからは、これらに加えて、少子高齢化社会対応として、きめ細かく、少年期には、スポーツの楽しさへの導入、青年期には、競技力向上、壮年、熟年期は、健康・長寿を目指し、ふれあい交流を含めた生涯スポーツへの参加等、人生の各シーンに対応する体協でありたいと思っております。

そのためには、体協の内容、行事等を広くお知らせし、市民の方々がスポーツを身近に感じて、自分に合ったスポーツを始めるきっかけになればと存じます。



さて、今年三月、体協はNPO法人資格を取得いたしました。社会的信用の増大と、財政基盤の確立を目指しております。

その一環として、先日、物心ともにご支援いただく「賛助会員」の募集を行いました所、多数の方々に、ご入会いただきました。誌面をお借りいたしまして、心よりお礼申し上げます。

むすびに、任意団体であった時と比べ、法人としての役割、責任は大きく重くなりました。限られた予算の中で、最大の効果を上げるコスト意識も問われます。初心を忘れず、目的を見失わず、新しい課題にチャレンジしていく覚悟ですので、皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

設立総会の様子



スポーツを通じて心身の健全な育成と明るいまちづくりを推進しよう

NPO法人白河市体育協会広報誌創刊祝辞

白河市長 鈴木和夫



この度、白河市体育協会が特定非営利活動法人になりましたこと、心からお祝い申し上げます。また、貴協会におかれましては、昭和35年の創立以来、長きにわたり、本市のスポーツ文化の振興にご尽力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、誰もが参加でき、心身の鍛錬やストレス発散など、多くの効果をもたらすスポーツの重要性は震災後、特に増しており、貴協会の果たす役割は益々大きくなっております。そのような中、体育協会として県内初のNPO法人化は、これからの広範な活動を見据えた大きな一歩であり、市民の手によるまちづくりの手本であります。

今後とも、市としては貴協会と連携を図り、活力に満ち市民が健康で元気に過ごせるまちづくりを推進してまいりますので、一層のご尽力とご協力をお願いいたします。

結びに、白河市体育協会の益々発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

NPO法人白河市体育協会広報誌創刊祝辞

公益社団法人福島県体育協会
会長 宗形守敏

白河市体育協会が昭和35年の設立以来輝かしい実績を残し、この度、特定非営利活動法人として新たな歴史をスタートされますことは、誠に意義深く心からお祝い申し上げますとともに、これまで協会発展にご尽力してこられた役員の方々をはじめ関係者の皆様に深く敬意を表します。

貴協会におかれましては、半世紀を超える歴史の中で、近隣町村との合併を重ねながら、今日まで本県体育・スポーツの振興と発展に大きく貢献してこられました。

これらは、貴協会の創立当初から脈々と受け継がれている地域重視の献身的な取り組みや、後継者の連携の素晴らしさを物語るものであり、これからの貴協会のさらなる発展につながるものであります。

また、貴協会が白河市にとどまらず、県南地域連合会のまとめ役として、今後ともスポーツの振興にご尽力いただくことを願ってやみません。

結びに、法人設立を機に、ますますのご発展を祈念し、発刊に寄せる祝辞といたします。



スポーツを通じて心身の健全な育成と明るいまちづくりを推進しよう

2014しらかわスポーツフェスティバル

白河市自転車競技連盟会長

NPO法人白河市体育協会副会長 班目秀雄



2014しらかわスポーツフェスティバルは体育の日の10月13日に行われました、今回は超大型台風19号の接近に伴い時間を短縮しての開催となりましたが、終了時にも雨は降らずに、参加した皆さんにも不自由を感じさせずお掃りいただきました。

スポーツギネスに挑戦。自転車では自己の最高時速に挑み、老若男女がチャレンジします。ペダルに足が届かない位のお子さんから、80歳を超えたと思われるおばあさんまで自己の体力の

限界に挑戦をして自己記録の達成に向かって頑張っていました！！

毎年最高速にチャレンジされている元気いっぱいのおばあちゃんがあります。（80歳を超えて参加者では最高齢だと思われます）年毎の記録を比較して自己体力と健康の維持管理に役立っているようで、そんな姿を見れば我々スタッフもモチベーションが上がります。又子供達は元気が余っていて2度3度と再チャレンジをして結果に一喜一憂していました。

子供達にとって、スポーツフェスティバルで種々のスポーツや遊びを体験する事が自分の特性に合った競技に出会えるチャンスになると思います。出会った競技を続け精進を重ねる事で世界に羽ばたく選手がこの地から生まれる事を願っています。



友好都市スポーツ交流の活動

白河卓球協会副会長

白河市体育協会女性委員会委員長

NPO法人白河市体育協会副会長 入谷みちこ



平成10年に歴史的縁の深い白河市・行田市・桑名市の友好都市締結を受けスポーツを通して相互の友好を深めることを目的として、平成11年度よりスポーツ交流が始まりました。

2年に一度3市が持ち回りで実施しております。今までに、卓球競技、家庭バレーボール・ソフトバレーボール競技、バドミントン競技等が3市スポーツ交流を行い、友好を深めてきました。

スポーツはもとより、昼食会や歓迎レセプションでの会話が弾みその中から地域性の違いや、独自の文化等お互いが理解し合える場となっております。

これらの絆を大事にし、今後もますます友好都市スポーツ交流を活発に行きたいと考えております。

スポーツ少年団の活動

白河市スポーツ少年団本部 本部長 寺島常昭

白河市スポーツ少年団は、平成17年11月、白河市、表郷村、大信村、東村の合併に伴い、スポーツ少年団本部も旧白河市27団体、表郷7団体、大信4団体、東3団体が統合され51団体の大所帯となり、現在は50団体、団員数977人（男子646人、女子331人）指導者数349人（有資格指導者209人）が登録し、それぞれのスポーツ少年団で活躍しています。



ここ数年、ソフトテニスやバドミントン、サッカー、バスケットボール競技などは東北大会や全国大会に出場し活躍するなど競技力が向上しています。

また、永年の懸案である県南支部指導者協議会を設立することができました。昨今では、人間関係の希薄さや、他人への無関心、子供達への行き過ぎた指導など、直面し得る問題や課題、難しい点も多いと思いますが、指導者協議会を通じ、情報を共有して子供たちの指導に役立てて頂き、子供たちの健全育成の為に頑張って頂ければと思っています。

スポーツ教室の活動「剣道教室」

福島県剣道連盟白河支部名誉支部長
NPO法人白河市体育協会副会長 望月敏博



剣道連盟白河支部は、剣道の理念「剣道とは剣の理法の修練による人間形成の道である。」の啓蒙を目指し、体育協会と共に剣道教室を開催し剣道の普及に努めています。

剣道は老若男女が楽しめる息の長い競技ですが、一步目がなかなか踏み出せません。教室に参加した子供が、模擬刀に目を輝かせ、額に汗し竹刀を振る姿は微笑ましいです。慣れない正座で胸を張り、大きな声で礼を言う子供は、頼もしい将来の宝物です。若い頃は無我夢中で稽古をしました。高齢者になった今、多くの先生方にご指導いただき、沢山の剣友ができた自分を顧みると「剣道をやっていて良かった」とつくづく思います。教室の卒業生が剣道指導を手伝ってくれています。「交剣知愛」の輪を広げ、武道の素晴らしさを知ってもらい、健康な肉体と精神を保てる「人創り」を続けていきたいと思っています。

市民総合体育大会の活動

NPO法人白河市体育協会事務局

平成26年度で第55回大会と半世紀を超える歴史ある大会であるが、平成17年の市町村合併後は、市民総体実行委員会等でより多くの参加者を集めての開催を目指していろいろと検討しながら実施いたしております。第53回大会（平成24年度）から町内対抗（総合得点での順位）を廃止し、各種目とも小中学校区での地区単位による参加と変更し、実施しておりますが、大信、表郷、東地区を含めた市民の参加者が各種目とも増加していないのが現状であります。今後は、より多くの市民の参加できる大会にしてゆくための実行委員会を積極的に開催し、検討をかさね市民参加型の市民総合体育大会となるよう体協加盟団体と協力し改革してまいります。



特定非営利活動法人白河市体育協会役員名簿

平成26年 5月 9日現在

<特定非営利活動法人白河市体育協会役員>

<加盟団体長・理事>

役 職	氏 名
会 長	櫻 井 和 朋
副 会 長	班 日 秀 雄
"	望 月 敏 博
"	中 上 徹
"	三 森 一 男
"	入 谷 み ち こ
"	矢 口 恵
"	須 藤 政 子
"	本 宮 直
理 事 長	齋 藤 眞 人
副 理 事 長	眞 壁 貢
監 事	永 野 勇
"	竹 内 豊
"	吉 田 強 子

<相談役>

相 談 役	植 野 浄
-------	-------

<事務局>

事 務 局 長	佐 川 広 一 郎
事 務 局 員	深 谷 光 男
"	滝 口 康 平
"	松 崎 真 由 美

団 体 名	会 長 名	理 事 名
白河弓道会	山 崎 一 史	小 松 一 夫
白河ソフトテニス協会	村 田 功	長 谷 部 浩 行
白河野球連盟	櫻 井 和 朋	鈴 木 秀 俊
福島県剣道連盟白河支部	梶 田 篤 志	薄 井 郁 雄
白河市水泳協会	渡 邊 富 夫	五 十 井 田 祐 一
白河山岳会	荒 井 守	荒 井 廣 行
西白河郡市陸上協会	菅 原 幸 夫	児 山 英 雄
白河バスケットボール協会	藤 田 彌 五 兵 衛	芳 賀 英 雄
白河卓球協会	北 村 武 宣	堀 田 賢 治
白河市スキー協会	相 川 勇 治	松 山 弘 幸
白河ソフトボール協会	鈴 木 隆 司	佐 久 間 正 男
白河柔道会	小 林 昭	小 黒 敏
白河市バレーボール協会	坂 上 正 美	齋 藤 眞 人
白河バドミントン協会	秋 本 義 伊	五 十 嵐 啓 介
白河市自転車競技連盟	班 日 秀 雄	和 知 良 正
合気道白河道場	川 本 喜 幸	澤 口 柳 太 郎
白河サッカー協会	小 島 博	眞 壁 貢
白河市アーチェリー協会	近 藤 寛	南 澤 昭
白河市家庭バレーボール協会	芝 澤 昌 子	宗 像 マキ子
白河少林寺拳法協会	藤 孝 志	山 田 茂 夫
白河市ゲートボール協会	薄 井 亥 三 郎	野 口 定 義
白河テニス協会	佐 藤 公 之	春 日 部 悟
白河市綱引協会	根 本 輝 久	関 戸 忠 義
白河市グラウンドゴルフ協会	平 下 勝 也	枝 松 文 助
白河野球協会	石 名 国 光	辺 見 正 和
白河ゴルフ協会	中 上 徹	須 永 敏 行
白河パークゴルフ協会	有 賀 初 子	芳 賀 正 義
表郷地区体育協会	矢 口 恵	田 子 重 夫
大信地区体育協会	須 藤 政 子	熊 田 一 三
東地区体育協会	本 宮 直	藤 田 武 功
高等学校体育連盟		佐 藤 裕 展
中学校体育連盟		橋 本 高 尚
西白河小中学校連合協議会白河班		星 喜 博
会長推薦（市民体育館）		和 知 弘
会長推薦（スポーツ少年団）		佐 藤 明 男
会長推薦（女性委員会）		十 文 字 よ し 子
会長推薦		佐 川 広 一 郎

平成26年度NPO法人白河市体育協会賛助会員

今年度より、財源基盤の確立と強化のために募集させていただいた賛助会員にご賛同とご支援をいただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。おかげさまで、ご協力賜りました賛助会費は、本会の事業推進の経費として有効に活用させていただいております。活動を継続しさらに充実させるために、安定的な自主財源の確保が必要になりますので、今後ともよろしくご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《団体会員》

(株)あおき	(株)朝日ラバー	味の素製菓(株)福島事業所
(有)アルファ	(株)イイダ	(有)エビナ
櫻泳スイミングスクール白河	会星産業(株)	NPO法人カルチャーネットワーク
(有)桂設計	北白川(株)	協業組合 白河地方リサイクルセンター
(株)共和建商	ケンサーチ(株)	剣道を支援する白河立教館後援会
県南バドミントン協会	小松石材工業(有)	(株)コウシン
こちや自動車工業(株)	佐川たるま製造所	(株)佐久間組
さくらい	(株)サン・ペンディング白河	(株)サンメリット白河
(株)シバ	(有)白河衛生社	(有)白菊商事
(株)常陽銀行白河支店	白河信用金庫	白河農業協同組合
白河フットボールクラブ	医療法人社団慈泉会	(株)昇栄
(株)シンエイリンクス	(株)新白河ゴルフ倶楽部	白河商事(株)
(有)白河園芸総合センター	NPO法人白河ゴルフ倶楽部	(株)鈴木伸幸建築事務所
(有)須藤建設工業	スーパースポーツゼビオメガステージ白河店	(株)総合企画
(株)大東銀行白河支店	大東土建(株)	(有)高重自動車運輸
(有)高山不動産	(有)忠光自動車整備工場	(有)田ノ上製作所・白河工場
田村建材(株)白河営業所	(株)でんき倶楽部	(株)東邦銀行白河支店
(株)中商	(株)中村組	南湖自動車学校
日本工機(株)白河製造所	医療法人社団 博英会	白新商事(有)
(株)ピーアンドケーカンパニー	(株)福島銀行白河支店	福島県南土建工業(株)
福島小松フォークリフト(株)白河営業所	ふじ印刷(株)	藤田建設工業(株)
増子不動産(株)	丸昌不動産(有)	(株)緑川産業
(有)村上運動具店 白河店	ヤマヨ測定機(株)	よこむら整形外科クリニック
吉川幸雄弁護士事務所	和光メガネ	渡辺だるま店
(有)ワタベ印刷所		※他に匿名希望 1団体

《個人会員》

青村 修明	荒井 勝(荒井鉄工所)	荒谷 俊彦(白河高層フィールドアーチェリーレンジ)
有賀 初子(愛宕山パークゴルフ場)	飯村 春雄(王王楼)	生田 初子(フラワーショップいくた)
植野 浄	大高 貞男	大竹 昭雄(赤と黒)
川瀬 方子	君島 正信(いせや君島商店)	久保木 真三(借楽園)
黒須 伊一(家具のくろす)	近藤 寛(近藤種苗店)	齋藤 和夫
齋藤 慎一	佐藤 吉一(イタリアンクラブ)	鈴木 仁(仁すし)
鈴木 高雄(鈴木石材)	竹井 和之(とら食堂)	東宮 清章
冨塚 れい子(山頭火ゼネラルフーズ)	内藤 猛(Coffee Houseらたん)	根本 久美子(まつおか手芸店)
根本 輝久(白河市綱引協会会長)	邊見 正則	星 信義
班目 隆雄(班目整骨カイロプラクティック治療院)	三節草 章(まつい)	森 勝政
安田 豊	安田 好伸(松河屋)	矢吹 幸彦(矢吹商店)
渡辺 修一(ロック&フィドル)	渡部 冬子	※他に匿名希望 14名

(平成26年4月1日から平成26年10月31日までご賛同いただいた方を掲載 五十音順・敬称略)

編集後記

東日本大震災から3年8ヶ月、市民が少しずつ復興へ向けて歩いてきましたが、その道は険しく、困難な時もあったかと思います。そんな時に背中を押してくれたことの一つに「スポーツの力」があったのではないのでしょうか。国体等での本県選手団の活躍、国際大会での日本選手の活躍が、私たち白河市民に勇気と力を与えてくれたように思います。

また、2020年には、2度目の東京オリンピックが開催されますので、スポーツの素晴らしさを再確認したいと思います。

今後とも白河市民の皆様へ、さまざまなスポーツの情報提供ができるよう努力してまいります。

(広報担当：三森一男、事務局 佐川広一郎・深谷光男・滝口康平・松崎真由美)